

令和7年度 学校夢づくりプロジェクト



【学校企画型】

カタフェス！

堅田中学校

学校運営協議会と連携し、「将来の街づくりの担い手」を育てることを主テーマとして「防災教育」に取り組んでいます。その中で生徒たちは普段からの関わりが、有事の際の共助に不可欠だと感じるようになりました。そこで今年度は『中学生が堅田の地域を1つに！』を合言葉に、堅田の地域の人みんなが来て楽しめるお祭りを、企画・運営しました。



地域の方と関われるようにと、5つのブースの企画と・運営をしました。

- ①ポッチャ体験ブース：体育館でパラリンピックの正式種目でもあるポッチャを、来場者に体験してもらいました。
- ②キャップアート体験ブース：被服室で細かく刻んだペットボトルキャップをアイロンで溶かし、カラフルなストラップなどを作ってもらいました。
- ③謎解きブース：総合案内も兼ね、中学校入り口で謎解きカードを配布し、会場内に散りばめられた謎を解いてもらいました。
- ④よさこい披露：カタフェス！のクライマックスに、プラザ（昇降口前）でよさこいダンスを披露しました。
- ⑤カフェブース：プラザで飲み物やお菓子を提供し、来場者にくつろいでもらいました。

乳幼児さんから高齢者の方まで、80名を超える来場者があり、どのブースも温かい笑顔があふれていました。当日スタッフとして活動した25名の生徒全員からも「カタフェス！を通じて前よりもっと堅田が好きになれた」という感想が聞けました。



令和6年度 学校夢づくりプロジェクト



【学校企画型】

地域の方と協働で「防災教育」に取り組み、
「将来の街づくりの担い手」を育てる基盤を作る

堅田中学校

○概要

「将来の街づくりの担い手」を育てることをテーマとして、地域とのつながりの中で中学生が主体となって取り組める「防災」に関する活動に取り組んだ。実行委員を募集し、11月に実行委員が考案した「防災集会」を実施した。同じく、11月末に3年生が「避難所体験学習」を行った。学校運営協議会委員を中心に、地域住民と協働して実施し、地域の方々ともにかまどを作り、炊き出しを行った。生徒が「防災」について意識を高め、堅田の街を好きになり、「将来の街づくりの担い手」が育つきっかけにすることができた。



【防災集会】

前半は大津市の危機・防災対策課の方に「地震災害に備えて」をテーマに全校生徒に向けて講話をしていただいた。実行委員の生徒が要望していた「南海トラフ」への備えや、堅田の地域の避難場所などについてお話しいただき、生徒は興味を持って聞くことができた。後半は、実行委員の生徒が考えた三択クイズをクラス対抗で行い、防災について楽しく学ぶことができた。

【避難所体験学習】

ブロックでかまどをつくり、炊き出しを行った。事前に、実行委員の生徒が炊き出しのメニューをいくつか考え、生徒の投票でカレーに決定した。また、当日までに、実行委員の生徒と学校運営協議会の委員でかまどづくりの予行も行った。

当日は、まず体育館に集まり、AEDの大切さを学ぶ動画を視聴した。その後、学校運営協議会の委員をはじめとする地域の方の指導や協力を受けて、かまどでの炊き出しづくりを行った。炊き出しのカレーができ上がるまで、学校運営協議会の委員の方に手配いただいた起震車の体験や煙体験を行った。当日の朝と帰りに実施した生徒へのアンケートから、自助・共助の意識が高まったことが分かった。



令和5年度 学校夢づくりプロジェクト



SDGsで環境問題を考える～美しい堅田の街づくり～

堅田中学校

○概要

Think Globally, Act Locally. 世界規模で考え、身近な地域で行動する。堅田の街で自分たちにできることから行動していきたいと考えました。地域連携カレンダーを作成し、学校運営協議会と生徒会が連携し、清掃活動やペットボトルの回収など様々な活動を行いました。最後は、ペットボトルツリーやキャップアートを制作する予定です。リサイクル、リフューズ、リユース、リデュースの4Rを呼び掛け、SDGsの「住み続けられるまちづくり」や「つかう責任」につながると考えました。



堅田には、花の植え替え、地域の清掃活動、ヨシ刈りなどのたくさんの地域行事があります。地域連携カレンダーをつくり、校内だけではなく地域にも発信し、地域の方や生徒が当事者意識を持ち、学校・地域が一体となって学校夢づくりプロジェクトやコミュニティ・スクールの取組を進めることができました。たくさんの生徒が地域の方と一緒にボランティア活動に参加することによって、お互いを知り、堅田の街を知ることにつながる。これが災害時のコミュニケーションにつながり、コミュニティ・スクールのテーマである防災・減災の土台作りになると考え取り組みました。

11月には、学校夢づくりプロジェクト特別講演として、滋賀県地球温暖化防止推進センター推進員の方にご講演をいただいた後、海洋ゴミ楽器集団ゴミンゾク様にコンサートを開催していただきました。生徒にとって、驚きや新たな発見、たくさんの学びがある充実した内容になりました。2月には、学校運営協議会と連携・協働し、生徒がコミュニティカフェを運営し、売り上げを能登半島地震で被災された方々への義援金にあてます。また、集めたペットボトルを使って、巨大ペットボトルツリー、ペットボトルキャップアートにも挑戦します。

